

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	言語工学特論第二		
英文授業科目名	Topics in Natural Language Processing		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報工学専攻-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学専攻		
担当教官名	古郡 廷治		
居室	西9-719		

公開E-Mail	授業関連Webページ
furugori@cs.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
自然言語処理に関する内外の論文を読み、その現状と将来展望をする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
言語工学特論第一

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
プログラミング言語 データ構造

<b>【教科書等】</b>
なし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>自然言語処理、言語技術に関する理論、技術、応用に関する内外の文献を読む。対象とする分野には次のものを含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的考察</li> <li>・ 初期の自然言語処理システム</li> <li>・ 文法理論および意味理論</li> <li>・ 知識の表現と推論形式</li> <li>・ 言語理解システム</li> <li>・ 文書処理</li> </ul>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

- ・機械翻訳
- ・例文、コーパスにもとづく言語処理

受講者は各自数編の文献を読み、内容の要約、発表、議論をし、主題分野の理解を深める。

### 【成績評価方法および評価基準】

成績は、議論への参加とレポートで評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

通常は、他の授業、会議等がない限り、9：00 - 17：00までのいつでもよい。

### 【学生へのメッセージ】